

社団法人全国私立保育園連盟 調査部 平成16年7月

全国高校生向けアンケート 集計結果

全国高校生の今、そして近い未来は…

平和、自然環境、福祉が保全・充実されることを望む回答が多くあつた。

はじめに

(社) 全国私立保育園連盟が運動している「21世紀を担う子育て環境づくり運動」の一環として、近い将来、親となる高校生を対象に、今の家庭や社会、そして自分の将来についての意識調査を行った。

依然と続く少子化は、日本の将来の経済・社会に大きく左右する大きな問題である。人口動態推計も、中位推計を下回る数値で推移し、子ども人口（15歳未満）^{*1}も13.8%となり、他国と比べてもかなり低い人口割合である。このような状況の中で、将来を推測するには、近い将来、親となる今の高校生の意識を調査分析することは、大変有益なことと思われる。

本調査は、調査概要に示すように、全国の加盟組織から協力校を選び、全国39校、3936人からの回答を得た。調査の単純集計からは、全国の高校生の現在、そして近い未来が想像できるような結果がでた。そこには、マスコミ報道で危惧されるような状況はなく、むしろ現状をよくとらえ、健全な回答が多くあり、近い未来が明るいものとなるような結果であった。

家族の関係においても、信頼関係に重きがおかれ、反発的なものや否定的なものが少なかった。そして、未来については、平和・自然環境・福祉が、保全・充実されることを望む回答が多くあった。

* 1 総務省統計局発表（2004年5月4日）

I 調査の概要

1 調査対象

全国の高校生（約4,000人）

2 調査方法

協力校へ郵送による送付および留め置き、封入された票を回収

回答者は、各校第1学年約50名、第3学年約50名

3 実施時期

平成15年11月1日～11月末日まで

4 回収票数および有効回収率

総計 3,936人（ただし、第2学年50名を含む） 有効回収率 98.4%

5 記載上の留意事項および定義

- ① 数値はすべて少数第二位以下四捨五入として処理した。したがって、割合については、該当項目の合計が必ずしも100にはならない場合がある。
- ② 特に注記がない限り割合は、回収数総計に比した数値。

II 集計結果

以下は、各設問ごとにみた、集計の結果。

1 あなた自身と家族について（回答者の属性について）

(1) 性別

① 男子 1,437人 (36.5%) ② 女子 2,482人 (63.1%) *ただし、無回答17人

(2) 学年

①第1学年 2,014人 (51.8%) ②第3学年 1,922人 (48.2%) [ただし、第2学年50人含]

(3) 家族構成（同居）

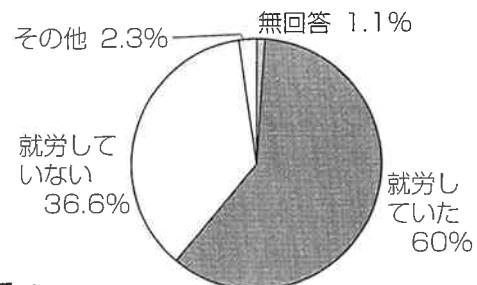
現在同居している家族の人数（あなたも含め） 平均4.5人

(4) あなたには、きょうだいはいますか

項目	人 数	(割 合)
いる	3,592	91.3%
いない	312	7.9%
無回答	32	0.8%

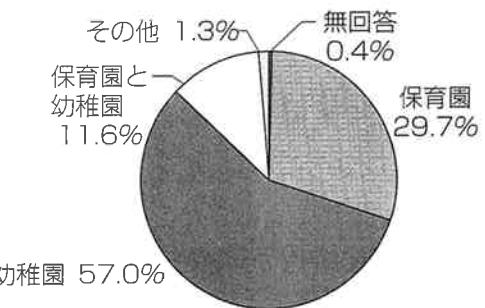
(5) あなたが小学生のとき、母親は就労していましたか？

項目	人 数	(割 合)
就労していた	2,363	60.0%
就労していない	1,439	36.6%
その他	89	2.3%
無回答	45	1.1%



(6) 幼児期に在園していたのは、保育園？ 幼稚園？

項目	人 数	(割 合)
保育園	1,169	29.7%
幼稚園	2,242	57.0%
保育園と幼稚園	458	11.6%
その他	53	1.3%
無回答	14	0.4%



- 回答者の男女比率は約1対2で、女子のほうが多いかったが、回答総数が多いため、比率による影響は少ないようだ。
- 分析においては、男女別のクロス集計も行った。
- 回答者の学年（1年生と3年生）比率は、3年生のほうが多い。

- ・家族構成（同居）は、回答者自身も含めて、平均4.5人であった。兄弟姉妹のいる家族は91.3%、一人っ子は7.9%と少なかった。
- ・回答者が小学生のときの母親の就労は、60%。
- ・回答者の幼児期の在園は、幼稚園57.0%、保育園29.7%、幼稚園と保育園が11.6%。一方、回答者が小学校に上がってから、「母親が就労していた」という回答は6割に及んだ。ただし、幼稚園在園中でもパート等を含めて就業しているケースも考えられるので、必ずしもすべての母親が小学校に上がってから就業したとはいきれないと思われる。

2 “兄弟姉妹”について

(1) あなたは、兄弟姉妹は（自分も含めて）何人ぐらいがいいと思いますか？

	男 子		女 子		不 明		総 計	
	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)
①1人	153	10.6%	100	4.0%	1	5.9%	254	6.5%
②2人	633	44.1%	1,068	43.0%	6	35.3%	1,707	43.4%
③3人	573	39.9%	1,100	44.3%	7	41.2%	1,680	42.7%
④4人以上	65	4.5%	203	8.2%	1	5.9%	269	6.8%
無回答	13	0.9%	11	0.4%	2	11.8%	26	0.7%
合 計	1,437	100.0%	2,482	100.0%	17	100.0%	3,936	100.0%

(2) いたらしいなと思う兄弟姉妹は？ ((1)の②③④記入者のみ回答／複数回答)

項 目	人 数	(割 合)
兄	1,916	52.4%
弟	851	23.3%
姉	1,658	45.4%
妹	706	19.3%

*割合は2-(1)の②③④回答者3,656人を母数

(3) 兄弟姉妹がいたほうがよいと思う理由は？

3つまで選んで記入 ((1)の②③④記入者のみ回答)

項 目	人 数	(割 合)
家庭が賑やか・明るくなる	2,060	56.3%
一緒に遊べる	2,202	60.2%
相談相手になる	1,598	43.7%
かわいい・たのもしい	888	24.3%
将来も助け合える	1,062	29.0%
情報がはやくなる	848	23.2%
きょうだいのきずなができる	583	15.9%
その他	159	4.3%

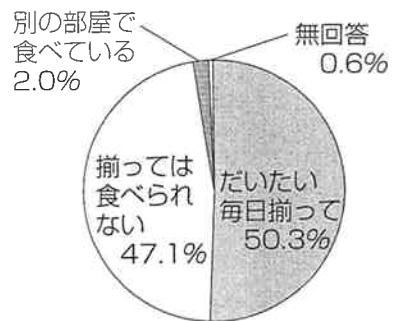
*割合は上記の2-(1)回答者3,656人を母数

- ・「兄弟姉妹は何人がいいか？」の設問では、「2人」が43.4%、「3人」が42.7%。「1人」は6.5%と少なかった。男女別クロス集計では、男女とも「2人」「3人」はほぼ同じであったが、男子は兄弟姉妹の少ないほうに、女子は兄弟姉妹の多いほうに希望が多い傾向であった。
- ・「いたらいいなと思う兄弟姉妹は？」では、「兄」が52.4%、「姉」が45.4%で、上の兄弟姉妹のほうに希望をもっている。
- ・「兄弟姉妹がいたほうがよい理由」は、「一緒に遊べる」60.2%、「家庭が賑やか・明るくなる」56.3%、「相談相手になる」43.7%と続いた。家庭や兄弟姉妹のきずなを大事にしたいというところが伺える。

3 家庭について

(1) あなたは、家族揃って夕食を食べますか？

項目	人 数	(割 合)
だいたい毎日揃って食べている	1,980	50.3%
それぞれ帰宅時間がちがうので揃っては食べられない	1,853	47.1%
別の部屋で食べている	79	2.0%
無回答	24	0.6%



(2) あなたは、家族の中で一番の相談相手はだれですか？

項目	男 子		女 子		総 計	
	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)
父	126	8.8%	90	3.6%	216	5.5%
母	677	47.1%	1,491	60.1%	2,177	55.3%
兄弟姉妹	253	17.6%	608	24.5%	863	21.9%
祖父	9	0.6%	5	0.2%	15	0.4%
祖母	16	1.1%	32	1.3%	48	1.2%
その他	293	20.4%	208	8.4%	506	12.9%
無回答	63	4.4%	48	1.9%	111	2.8%
総 計	1,437	100.0%	2,482	100.0%	3936	100.0%

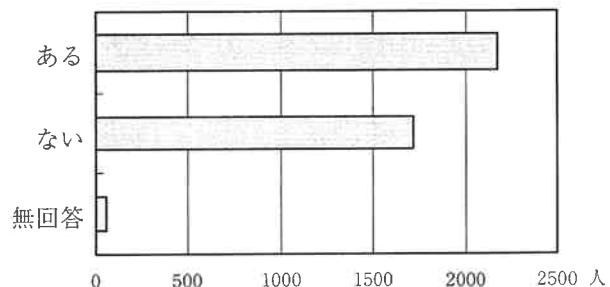
(3) あなたにとって望ましい「家庭とは」どういうところだと思いますか？

3つまで選んで記入（複数回答）

項目	人 数	(割 合)
リフレッシュできるところ	1,214	30.8%
安心できるところ	3,043	77.3%
笑いがあるところ	1,655	42.0%
自由がきくところ	1,466	37.2%
相談できるところ	938	23.8%
ご飯が食べられるところ	901	22.9%
寝に帰るところ	784	19.9%
その他	82	2.1%

(4) あなたは、今までに親族の死に立ち会ったことがありますか？

項目	人 数	(割 合)
ある	2,165	55.0%
ない	1,717	43.6%
無回答	54	1.4%



・「家族揃っての夕食」は、約50%が「だいたい毎日揃って食べている」となり、比較的健全な生活をしていることが伺える。

・「家族の中で一番の相談相手は？」については、「母」55.3%、「兄弟姉妹」21.9%、「その他」12.9%となり、「父」は5.5%で非常に低くなっている。

男女別クロス集計では、男子で「母」47.1%、「その他」20.4%、「兄弟姉妹」17.6%、「父」8.8%となり、「父」の割合が全体に比べ若干増えたものやはり少ない。「その他」が多くなっているのは、「友だち」が含まれているようにも考えられる。女子では、「母」60.1%、「兄弟姉妹」24.5%、「その他」8.4%、「父」3.6%となり、父親の存在の低さがさらに伺えるが、相談しにくい部分もあるので、それが男女差に現れたようにも考えられる。しかし、高校生の子育ての主役はやはり母親であり、相談相手として父親の存在は家庭においては非常に低い結果となった。家庭での母親と父親の役割がそれなりに機能しているとも考え得るが、一方で、「仕事」に偏りがちと一般的にいわれる父親の家庭にいられる時間のなさという現状も課題である。

・厚生労働省がこの度まとめた「子育て支援策に関する調査」(平成15年1月～2月実施、就学前児童のいる2,000世帯の父母を対象、回収率88%)結果では、ほぼ7割(68%)の父親が、「育児を仕事と同等かそれ以上に優先したい」と考えていることが指摘されている。しかしながら、同時に実際はどうかとの質問では、「育児優先」と「育児と仕事を同等」は計33%で、「仕事優先」が計65%に達している結果であったことが、公表されている。

・「望ましい家庭とはどういうところか？」の設問では、「安心できるところ」77.3%、「笑いがあるところ」42.0%、「自由がきくところ」37.2%、「リフレッシュできるところ」30.8%となり、家庭を温もりのあり安心感があるところととらえている回答が多かった。「その他」の回答を見ても、ネガティブなものが少なかった。

・「親族の死に立ち会ったことがあるか？」については、「ある」55.0%、「ない」43.6%であった。

4 「しつけ」について

(1) あなたは、あなたが受けた親のしつけについてどう感じていますか？

項目	男 子		女 子		不 明		総 計	
	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)
やさしかった	176	12.2%	242	9.8%	3	17.6%	421	10.7%
きびしかった	343	23.9%	737	29.7%	2	11.8%	1,082	27.5%
ふつうだった	709	49.3%	1,244	50.1%	11	64.7%	1,964	49.9%
よくわからない	200	13.9%	253	10.2%	1	5.9%	454	11.5%
無回答	9	0.6%	6	0.2%	0	0.0%	15	0.4%
合 計	1,437	100.0%	2,482	100.0%	17	100.0%	3,936	100.0%

(2) あなたは、親のしつけは必要だと思いますか？

項目	人 数	(割 合)
①必要だと思う	1,834	46.6%
②ある程度必要だと思う	1,915	48.7%
③必要だと思わない	55	1.4%
④よくわからない	108	2.7%
無回答	24	0.6%

(3) (2)で①と②に付けた方に「必要だと思う」しつけについて伺います 3つまで選んで記入（複数回答）

項目	人 数	(割 合)
早寝早起き	303	8.1%
偏食	574	15.3%
挨拶等礼儀作法	2,967	79.1%
自分のことは自分で	2,012	53.7%
約束を守る・社会のルールやマナー	3,314	88.4%
ものを大切に	1,283	34.2%
その他	94	2.5%

*割合は4-(2)の①②
回答者3,749人を母数

(4) あなたが、親のしつけ方でよくないと思ったことは何ですか？

3つまで選んで記入（複数回答）

項目	人 数	(割 合)
親ができていないのにさせようとする	1,366	34.7%
きびしく、がみがみといわれる	1,410	35.8%
他と比べて、させようとする	1,961	49.8%
時代にあっていないことをいわれる	1,391	35.3%
細かすぎるしつけ	995	25.3%
すぐに、たたくなど手をあげる	1,199	30.5%
その他	293	7.4%

・「回答者が受けた親のしつけ」については、「ふつうだった」49.9%、「きびしかった」27.5%、「よくわからない」11.5%、「やさしかった」10.7%となつた。

また、男女別クロス集計では、「ふつうだった」はほぼ同じだったが、「きびしかった」が男子で24.0%、女子で29.8%、「やさしかった」が男子で12.3%、女子で9.8%であった。女子のほうが、「きびしかった」との回答が多かった。

・「親のしつけは必要か？」の設問では、「ある程度必要だ」48.7%、「必要だと思う」46.6%となり、必要だとする回答が圧倒的で、親の姿勢を受け入れようとしていることが伺える。

・では、「しつけが必要だ」とした回答者に対して、「必要だと思うしつけは？」の設問では、「約束を守る・社会のルールやマナー」88.4%、「挨拶等礼儀作法」79.1%、「自分のことは自分で」53.7%と続き、人との関係をよくすることや自己責任に対するしつけが必要とする回答が多かった。高校生のマナーの悪さがよく指摘されるが、むしろ高校生はすでに認識していて、現在社会が欠如して

- いる部分を的確にとらえている回答となっている。
- ・「親のしつけでよくないと思ったことは？」の設問では、「他と比べてさせようとする」49.8%、「きびしくがみがみいわれる」35.8%、「時代にあっていないことをいわれる」35.3%、「親ができていなければさせようとする」34.7%と続いた。
- やはり「しつけ」は、親から子どもへの一方的なものは、子どもが理解していても拒否的になり、子どもは大人を冷静に見ながら、受け入れる姿勢は持っていることが伺える。
- また、この回答の逆が、よいしつけであり、受け入れられるしつけであるように考えられる。

5 あなたの個性について

(1) あなたの親は、あなたの個性を認めていると思いますか？

項目	人 数	(割 合)
認めていると思う	1,448	36.8%
ある程度認めていると思う	1,539	39.1%
認めてないと思う	281	7.1%
よくわからない	652	16.6%
無回答	16	0.4%

(2) あなたが特に認めてもらいたい個性は何ですか？

項目	人 数	(割 合)
容 姿	192	4.9%
服 装	154	3.9%
考 え 方	2,692	68.4%
能 力	753	19.1%
そ の 他	155	3.9%
無回答	15	0.4%

- ・「あなたの親は、あなたの個性を認めているか？」については、「ある程度認めている」39.1%、「認めている」36.8%となり、認めているという回答が多かった。
- ・また、「あなたが特に認めてもらいたい個性は？」では、「考え方」68.4%、「能力」19.1%、「容姿」4.9%、「服装」3.9%となり、外見より中身という回答が目立った。

6 子どもについて

(1) あなたは、赤ちゃんを抱いた経験がありますか？

項目	人 数	(割 合)
あ る	3,052	77.5%
な い	868	22.1%
無回答	16	0.4%

(2) あなたは、体験学習やボランティアなどで、保育園の子どもたちと触れ合うことをしてみたいですか？

項目	人 数	(割 合)
してみたい	1,725	43.8%
少ししてみたい	1,257	31.9%
したくない	940	23.9%
無回答	14	0.4%

(3) あなたは、日本の子どもが少なくなったと思いますか？

項目	人 数	(割 合)
思う	1,229	31.2%
少し思う	1,917	48.7%
思わない	743	18.9%
無回答	47	1.2%

(4) あなたは、子どもが少なくなると、日本の将来にどんな影響ができると思いますか？ 3つまで選んで記入。(複数回答)

項目	人 数	(割 合)
若い労働力が不足することにより、日本の経済力がなくなる	2,671	67.9%
若い世代の税金、年金、医療費の負担が大きくなる	3,088	78.5%
地域に若い世代が減少し、育児不安がひろがる	844	21.4%
地域に若い世代が減少し、活気がなくなる	1,999	50.8%
人口規模が縮小し、環境問題の改善が見られる	300	7.6%
就労人口が減少し、就職がしやすくなる	316	8.0%
女性の社会進出が強まり、男女が協力していく社会となる	358	9.1%
その他	158	4.0%

- ・「赤ちゃんを抱いた経験は？」の設問では、「ある」77.5%、「ない」22.1%となり、「ある」が多かった。
- ・「体験・ボランティア等で保育園の子どもたちと触れ合うことをしてみたいか？」の設問では、「してみたい」43.8%、「少ししてみたい」31.9%、「したくない」23.9%となった。子どもとのふれあいを希望する回答が多かった。
- ・「日本の子どもが少なくなったと思うか？」については、「少し思う」48.7%、「思う」31.2%、「思わない」18.9%となり、少子化を感じている高校生が多い。
- ・「子どもが少なくなると日本の将来にどんな影響が？」の設問では、「若い世代の税金、年金、医療費が負担が大きい」78.5%、「日本の経済力がなくなる」67.9%、「地域に若い世代が減少し、活気がなくなる」50.8%、「地域に育児不安がひろがる」21.4%と続いた。一般的に社会について、あまり関心がないように思われている高校生だが、社会問題について比較的よくとらえているようであった。メディアの影響も大きいのではないかと思われる。

7 あなたの将来について

(1) あなたの将来への不安は、何ですか？ 3つまで選んで記入（複数回答）

項目	人 数	(割 合)
進学・就職について	2,813	71.5%
人間関係で上手くやつていけるか	1,871	47.5%
環境問題について	424	10.8%
家族の将来	668	17.0%
自分の健康	666	16.9%
自立できるか	1,490	37.9%
現在、将来の夢や目標が見つからないこと	1,002	25.5%
その他	141	3.6%

(2) あなたは、結婚すると思いますか？

	男 子		女 子		不 明		総 計	
	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)
結婚すると思う	1,045	72.7%	1,946	78.4%	10	58.8%	3,001	76.2%
どちらかといったら 結婚しないと思う	221	15.4%	332	13.4%	5	29.4%	558	14.2%
結婚しないと思う	90	6.3%	127	5.1%	0	0.0%	217	5.5%
無回答	81	5.6%	77	3.1%	2	11.8%	160	4.1%
合 計	1,437	100.0%	2,482	100.0%	17	100.0%	3,936	100.0%

(3) (2)で「結婚すると思う」と答えた方に伺います
結婚したら、共働きすると思いますか？

自分の考えに近いと思うものを1つ選んで記入

	男 子		女 子		無回答		総 計	
	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)	人 数	(割 合)
夫は働き、妻は家事・育児を担当する	161	15.4%	210	10.8%	0	0.0%	371	12.4%
夫は働きながら、育児にできるだけ参加、妻は家事・育児に支障のない範囲で働く	501	47.9%	745	38.3%	6	60.0%	1,252	41.7%
夫も妻も働き、互いに協力して家事・育児をする	375	35.9%	979	50.3%	4	40.0%	1,358	45.3%
無回答	8	0.8%	12	0.6%	0	0.0%	20	0.7%
合 計	1,045	100.0%	1,946	100.0%	10	100.0%	3,001	100.0%

*割合は上記の(2)の回答者3,001人を母数

母親の就労の有無別に見た「共働き」についての意識

(「母親の就労の有無」×「共働きについて」クロス集計)

	母親が就労していた		母親が就労していない		その他		無回答		総 計	
	人数	(割合)	人数	(割合)	人数	(割合)	人数	(割合)	人数	(割合)
夫は働き、妻は家事・育児を担当する	165	9.1%	191	17.8%	9	12.0%	6	16.2%	371	12.4%
夫は働きながら、育児にできるだけ参加、妻は家事・育児に支障のない範囲で働く	699	38.5%	497	46.3%	35	46.7%	21	56.8%	1,252	41.7%
夫も妻も働き、互いに協力して家事・育児をする	945	52.0%	373	34.8%	30	40.0%	10	27.0%	1,358	45.3%
無回答	7	0.4%	12	1.1%	1	1.3%	0	0.0%	20	0.7%
合 計	1,816	100.0%	1,073	100.0%	75	100.0%	37	100.0%	3,001	100.0%

在園施設別に見た「共働き」についての意識

(「在園施設」×「共働きについて」クロス集計)

	保育園		幼稚園		保育園と幼稚園		その他		無回答		総 計	
	人数	(割合)	人数	(割合)	人数	(割合)	人数	(割合)	人数	(割合)	人数	(割合)
夫は働き、妻は家事・育児を担当する	82	9.1%	240	14.1%	43	12.6%	4	9.8%	2	12.5%	371	12.4%
夫は働きながら、育児にできるだけ参加、妻は家事・育児に支障のない範囲で働く	329	36.5%	759	44.6%	141	41.3%	11	26.8%	12	75.0%	1,252	41.7%
夫も妻も働き、互いに協力して家事・育児をする	488	54.1%	690	40.6%	153	44.9%	25	61.0%	2	12.5%	1,358	45.3%
無回答	3	0.3%	12	0.7%	4	1.2%	1	2.4%	0	0.0%	20	0.7%
合 計	902	100.0%	1,701	100.0%	341	100.0%	41	100.0%	16	100.0%	3,001	100.0%

(4) あなたは将来就職した後、親との同居を考えますか？

自分の考えに近いと思うものを1つ記入

項 目	人 数	(割 合)
このまま、親と同居したい	295	7.5%
独立して暮らす	1,728	43.9%
結婚するまでは一緒に暮らす	830	21.1%
いったん、独立するが、子どもが生まれたら同居する	112	2.8%
いったん、独立するが、介護が必要になれば同居する	879	22.3%
無回答	92	2.3%

(5) あなたは、「自分はこんな大人にはなりたくない」と思ったことがありますか？

項目	人 数	(割 合)
ある	2,703	68.7%
ない	1,046	26.6%
無回答	187	4.8%

(6) あなたはこの先、日本に住みたいと思いますか。

項目	人 数	(割 合)
思う	2,434	61.8%
思わない	255	6.5%
こだわらない	1,105	28.1%
無回答	142	3.6%

(7) あなたは、日本の未来はどうなると良いと思いますか？

3つ選んで記入（複数回答）

項目	人 数	(割 合)
自然が保全され、自然と共存できる未来	1,297	33.0%
科学がさらに進歩し、もっと便利になる未来	871	22.1%
どんな病気も治せる未来	958	24.3%
科学技術の進歩より、もっとスローにすすむ未来	197	5.0%
安心して子どもを生み育てられる未来	854	21.7%
治安がよく安全な未来	1,234	31.4%
福祉の充実した未来	1,293	32.9%
個性がもっと發揮できる未来	953	24.2%
高校生にも選挙権がある未来	200	5.1%
暴力や争いがない未来	1,425	36.2%
もっと皆で助け合って生きていく未来	722	18.3%
文化、技術、平和などで、日本が世界のリーダーとなる未来	207	5.3%
その他	215	5.5%

・「あなたの将来への不安は？」については、「進学・就職について」71.5%、「人間関係で上手にやっていけるか」47.5%、「自立できるか？」37.9%、「現在、将来の夢や目標が見つからないこと」25.5%と続いた。

進学・就職については、ごく近い将来なので納得できる。「人間関係で上手にやっていけるか」については、人間関係の難しさを感じていることがわかる。そして、生きるために自立することが大事だと認識しているようである。

・「あなたは結婚すると思うか？」については、「結婚すると思う」76.2%、「どちらかというとしないと思う」14.2%、「結婚しないと思う」5.5%となった。

男女別クロス集計では、「どちらかといったら結婚しない」「結婚しない」が男子で22.9%、女子で19.1%だった。男子のほうが、「結婚しない」という回答がやや多かった。

- ・「結婚するとしたら何歳？」の設問は、25.3歳（参考集計）となり、実際の結婚平均年齢より、低い結果となった。「○歳頃、○歳代、○歳から○歳など」の回答が多かったので、この設問についての集計は参考とさせていただいた。
- ・「結婚すると思う」の中で、「結婚したら共働きするか？」の設問には、「夫も妻も働き、互いに協力して家事・育児をする」46.8%、「夫は働きながら、育児にできるだけ参加、妻は家事・育児に支障のない範囲で働く」42.9%、「夫は働き、妻は家事・育児を担当」12.7%であった。妻は、家事・育児という考え方は、高校生でも少ないとされた。

ベネッセ未来教育センターの行った高校生を対象とした1981年と2003年の比較調査結果でも、ほぼ同様の傾向がでている。^{*1}

男女別クロス集計では、男子で多かったのは、「夫は働きながら、育児にできるだけ参加、妻は家事・育児に支障のない範囲で働く」47.9%、女子で多かったのは、「夫も妻も働き、互いに協力して家事・育児をする」50.3%だった。男子の回答は、ジェンダー・フリーの考え方や生活力を意識しての回答が考えられる。女子は、育児を意識しながらも働きたいという回答と考えられる。一方で、「夫は働き、妻は家事・育児を担当」は、男子15.7%、女子10.7%となり、男子が上回る結果となっている。その他のクロス集計は、参考までに掲載した。^{*2}

- ・「あなたは将来、就職した後、親と同居しますか？」の設問では、「独立して暮らす」43.9%、「いつたん独立するが、介護が必要ならば同居する」22.3%、「結婚するまでは、一緒に暮らす」21.1%と続いた。「独立して暮らす」については、「親離れしたい」、「自立したい」、「親に対する抵抗」等が考えられるが、「家族に介護が必要なときは同居する」という項目が2番目に入ったことは、注目するところである。高校生の優しさや親を思う気持ちが感じられる。
- ・「あなたはこんな大人になりたくないと思ったことがあるか？」については、「ある」68.7%、「ない」^{*3}26.6%となった。
- ・「あなたはこの先、日本に住みたいと思いますか？」については、「思う」61.8%、「こだわらない」28.1%、「思わない」6.5%となった。

現在の情報化された日本社会の中でのこの結果は、高い満足度であると思われる。ただし、国際化の中で、「こだわらない」という回答が多かったのもうなずける。

- ・「あなたは日本の未来がどうなると良いと思うか？」については、「暴力や争いがない未来」36.2%、「自然が保全され、自然と共に存できる未来」33.0%、「福祉の充実した未来」32.9%、「治安がよく安全な未来」31.4%と続いた。

イラク問題等、国内外のマスコミの事件報道の影響も伺える回答結果となった。自然環境の保全、福祉の充実に多く回答があったところは、注目される。

また、「安心して子どもを生み育てられる未来」についての回答が21.7%あり、高校生の近い将来について、子育てに关心があることを示す回答結果である。

III 考察

今まで、高校生のイメージは、マスコミなどが高校生のネガティブな側面だけが浮きぼりにされて、間違ったイメージだけがつくられていたように思われる。

しかし、本調査結果からは、高校生が健全に育ち、家族を大切にしながら、暴力や争いがなく、福祉が充実し、安心して子育てができる未来を、多くの高校生は希望していることがわかり、そうしたこれ

までの「イメージ」を考え直すものとなつた。

「兄弟姉妹」は複数（2～3人）を望み、理由として、家庭の明るさ・兄弟姉妹のきずなを大事にしたいという回答が多数あった。また、「家庭」は、温もりと安心感があるところ、家族揃っての食事も多くの家庭で見られ、比較的健全な生活をしているという結果となつた。

家庭の中での「相談相手」は、母親で、父親を相談相手にするという回答は非常に低かった。「しつけ」については、「必要だ」とする回答が9割以上あり、親の姿勢を受け入れようとしていることが伺える。^{*4}親の良くない「しつけ」は、「他と比べる」「厳しくがみがみいわれる」「時代にあってないこと」「親ができないのにさせる」という意見が多く、逆に「親のよいしつけ方」を示唆する意見となつた。

「個性」については、外見を認めてもらいたいということよりも、「考えた方」を認めてもらいたいとする回答が多くあり、社会が描いている高校生のイメージとは少しづれがあるようだ。

「子ども」については、少子化を感じている高校生が多く、それによって将来、さまざまな社会問題が生じることもとらえていた。

「将来」について、心配なことは「進学就職」「人間関係」「自立」の順となつた。人間関係の難しさを、将来について考える中でも感じているようだ。

「結婚」については、約2割が「しない」と答えていたが、「したい」が約7割以上あったこと。

「結婚後の共働き」については、「夫も妻も働き、互いに協力して家事育児をする」が一番多かった。

「就職後の同居」については、「独立して暮らす」が一番なのはうなずけるが、「家庭に介護が必要になれば同居する」が次に多かった。高校生の優しさや家族の思いが感じとれる結果であった。

ところで、内閣府は青少年施策に役立てるため、日本、韓国、アメリカ、ドイツ、スウェーデンの18歳～24歳の青少年約1,000人を対象に5年ごとに「世界青年意識調査」を行っている。先般発表された「第7回世界青年意識調査」の結果では、年老いた親の扶養について「どんなことをしてでも養う」と答えたのは、アメリカが73%ともっとも高く、韓国39%、日本は次いで25%の回答であった。

最後に、「日本の未来」について、「暴力や争いがない未来」「自然が保全され自然と共存できる未来」「福祉の充実した未来」と続き、「安心して子どもを生み育てられる未来」が21.7%あったことも注目したい。

今回の調査で、高校生が今の状況を冷静に見つめ、近未来について、家族を大切にしながら、平和で福祉の充実した未来を望んでいることがわかつた。

近い将来は、この高校生が社会を担い家庭をつくる。その高校生の家庭や社会の考え方、将来に対する意識は、この調査からは非常に頼もしく明るいものを伺わせている。

さらなる少子化が懸念されているが、本調査の高校生の意識からは、今の状況は、社会に出てから味わう、子育て支援施策の手薄さや子育て環境の難しさに少子化を長期化させているように思う。

近未来に親となるこの高校生の希望がかなえられるような、社会保障の基盤づくりを、今しっかりと整える必要があるだろう。

* 1 ベネッセ未来教育センター「モノグラフ・高校生 vol.70 高校生は変わったのか（2）－1980・1992年調査と比較して」調査結果。関東、中部の高校生3,803人（1981年）、1,000人（2003年）対象。

妻の生き方について「結婚したら家庭に入る」「子どもが生まれるまで働く」と専業主婦を望む回答は81年調査では男子83.2%、女子54.5%に比し、03調査では男子45.5%、女子25.3%と、いずれも3割減。

また、夫婦のかたちについて「夫がしっかりリードする」は、81年調査の男子28.5%、女子38.6%に対し、03年調査では男女とも8%。「互いに頼り合う」は81年調査の男子58.3%、女子44.0%に比し、03年調査では男子75.2%、女子71.1%。

一連の結果は、「専業主婦がいて夫がリードする家庭」から「夫婦ともに働き、互いに頼り合う家庭」に高校生の家庭像が20年間で変化した傾向を示している。

* 2 東京女性財団（現在は解散）1996年調査「性差意識形成環境に関する研究—性差に関する文化の形成及び教育効果に関する」。高校生を対象に「理想とする夫婦像」について聞いた結果では、女子は「妻も夫と同様に働き家事・育児も同様に分担する」を選択する回答がもっとも多く、34.8%だったのに対して、男子は「夫が主として働くが、妻も家事や育児に影響が出ない範囲で働く」が43.8%で一番多い結果となり、男女の意識差がはっきりと現れた結果となった。

* 3 この点について、くもん子ども研究所「くもん子どもファックス調査」（2002年9月6日～9月17日実施、全国の小学校4年生～高校生3年生対象うち高校生232人）では、「なりたくないと思う大人がいる」は、高校生男子48.7%、女子74.4%という結果となっている。

* 4 国立教育政策研究所内 家庭教育研究会の実施した「家庭の教育力再生に関する調査研究」（平成13年度文部科学省委託調査）の、「自分が子どものときに親からしつけられたことは、自身の人生にとって役に立っていると思うか」という質問結果では、「とても役に立っている」47.1%、「どちらかといえば役に立っている」47.0%で、圧倒的に肯定的な回答となっている。また、世代別に同様の回答の割合を見ても、若い世代95.3%、中堅世代94.2%、高年世代93.7%と有意差は見られていない。同調査は、全国の子どもと同居する親25歳～54歳までの男女のうち3,859人から回答。平成13年10月実施。

全国高校生意識アンケート

～そして近い未来は～

[3]. 家庭について伺います。

(1)あなたは、家で決まったお手伝い、仕事がありますか？ ①ある ②以前はあったが今はない ③ない

(2)あなたは、家族揃って夕食を食べますか？
 ①だいたい毎日揃って食べている
 ②それぞれ帰宅時間が違うので揃っては食べられない
 ③別の部屋で食べている

(3)あなたは、家族の中で一番の相談相手はだれですか？
 ①父 ②母 ③兄弟姉妹 ④祖父 ⑤祖母 ⑥その他

(4)あなたにとて望ましい「家庭とは」どういうところだと思いますか？3つまで選んでレ印を記入して下さい。
 ①リフレッシュできるところ
 ②安心できるところ
 ③笑いがあるところ
 ④自由がきくところ
 ⑤相談できるところ
 ⑥ご飯が食べられるところ
 ⑦寝に帰るところ

- （1）あなたには、兄弟はいますか。
 ①いる ②いない
- （2）何人兄弟の何番目ですか？
 ①[]人 兄弟の上から []番目
- （3）兄弟姉妹の構成人数は？
 兄[]人 姉[]人 弟[]人 妹[]人
- （4）兄弟姉妹の構成人数は？
 ①[]人 兄弟の上から []番目
- （5）以下の（2）、（3）は「いる」と答えた方に聞きします。
- （2）何人兄弟の何番目ですか？
 ①[]人 兄弟の上から []番目
- （3）兄弟姉妹の構成人数は？
 兄[]人 姉[]人 弟[]人 妹[]人

（1）あなたは、あなたが受けた親のしつけについてどう感じていますか？
 ①やさしかった ②きびしかった ③ふうだつた ④よくわからぬ

（2）あなたは、親のしつけは必要だと思いますか？
 ①必要だとと思う ②ある程度必要だとと思う ③必要だと思わない ④よくわからぬ

（3）①と②に付けた方に「必要だと思う」しつけについて伺います。3つまで選んでレ印を記入して下さい。
 ①早寝早起き ④自分のことは自分で
 ②偏食 ⑤約束を守る・社会のルールやマナー
 ③挨拶等礼儀作法 ⑥ものを大切に
 ⑦その他

[2]. “兄弟姉妹”について伺います。

（1）あなたは、兄弟姉妹は何人ぐらいがいいと思いますか？（自分も含めて）
 ①1人 ②2人 ③3人 ④4人以上

（2）いたらいいなと思う兄弟姉妹は？（上記（1）の②③④に記入した方のみ回答して下さい）
 ①兄 ②弟 ③姉 ④妹

（3）兄弟姉妹がいた方がよいと思う理由は何か？3つまで選んでレ印を記入して下さい。（この設問も上記（1）②③④に記入した方のみ回答して下さい。）
 ①家庭が穏やか・明るくなる ⑤将来も助け合える
 ②一緒に遊べる ⑥情報が共有できる
 ③相談相手になる ⑦兄弟のきずなができる
 ④かわいい・たのもしい
 ⑧その他

[5].あなたの個性について伺います。

- (1)あなたの親は、あなたの個性を認めていると思いますか？
①認めていると思う ②ある程度認めていると思う
③認めでないと思う
④よくわからない
- (2)他人の個性を認めていますか？
①認めていると思う ②ある程度認めていると思う
③認めでないと思う
④よくわからない
- (3)あなたがとくに認めてもらいたい個性は何ですか？
①容姿 ②服装 ③考え方 ④能力
⑤その他()

[6].子どもについて伺います

- (1)あなたは、赤ちゃんを抱いた経験がありますか？
①ある ②ない
- (2)あなたは、赤ちゃんを見て「かわいい」と思いますか？
①思う ②少し思う
③思わない
- (3)あなたは、小さい子どもども触れあうことが好きですか？
①好きだ ②少し好きだ
③嫌い
- (4)あなたは、体験学習やボランティアなどで、保育園の子ども達と触れあうことをしてみたいですか？
①してみたい ②少ししてみたい
③したくない
- (5)あなたは、日本の子どもが少なくなったと思しますか？
①思う ②少し思う
③思わない

上記の「[1]思う」に付けた方に伺います。「子どもが少ないと思う」のはどんなときですか？
 具体的な例等あげてください。
 3つまで選んでし印を記入して下さい。

- (6)あなたは、子どもが少なくなると、日本の将来にどんな影響ができると思いますか？
 3つまで選んでし印を記入して下さい。

- (1)若い労働力が不足することにより、日本の経済力がなくなる
②若い世代の税金、年金、医療費の負担が大きくなる
③地域に若い世代が減少し、育児不安がひろがる
④地域に若い世代が減少し、環境問題の改善がみられる
⑤人口規模が縮小し、地域の活気がなくなる
⑥就労人口が減少し、就職がやすくなる
⑦女性の社会進出が強まり、男女が協力していく社会となる
⑧その他()

[7].あなたの将来について伺います。

- (1)あなたは、親から期待されている進学先、職業がありますか？
①ある ②ない
- ③

上記「①ある」に付けた方に伺います。この進学先、職業は、あなたの考えているものと同じですか？

- ①同じ ②ほぼ同じ ③ちがう
- (2)あなたの将来への不満は、何ですか？ 3つまで選んでし印を記入して下さい。
- ①進学・就職について
②人間関係で上手くやつていけるか
③環境問題について
④家族の将来
⑤自分の健康
⑥自立できるか
⑦現在、将来の夢や目標が見つからないこと

[6].子どもについて伺います

(3)あなたは、結婚すると思いますか？ するとしたら、何歳くらいですか？

- ①結婚すると思う。 [] 才位
②どちらかといつたら結婚しないと思う。
③結婚しないと思う。

(3)ー2上記「①結婚すると思う」と答えた方に伺います。

- a) 結婚したら、子どもは、何人欲しいですか？ [] 人位
 b) 結婚したら、夫に働きますか？

下記の項目であなたの考えに近いと思うものを一つ選んでし印を付けてください。

- ①夫は働き、妻は家事・育児を担当する。
②夫は働きながら、育児にできるだけ参加、妻は家事・育児に支障のない範囲で働く。
③夫も妻も働き、互いに協力して家事育児をする。

(4)あなたは将来就職した後、親との同居を考えますか。あなたの考えに近いと思うものを一つ選んでし印を付けてください。

- ①このまま、親と同居したい。
②独立して暮らす。

③結婚するまでは一緒に暮らす。

④いつなん、独立するが、子どもが生まれたら同居する。

⑤いつなん、独立するが、介護が必要になれば同居する。

(5)あなたは、「自分はこんな大人にはなりたくない」と思つたことがありますか？それは何ですか？

- ①ある 何()
②ない

(6)あなたはこの先、日本に住みたいと思いますか。 ①思う。 ②思わない。 ③こだわらない。

(7)あなたは、日本の未来がどうなると良いと思いますか？ 3つ選んでし印を付けて下さい。

- ①自然が保全され、自然と共存できる未来
②科学が更に進歩し、もつと便利になる未来
③どんな病気も治せる未来
④科学技術の進歩により、もっとスピーローに進む未来
⑤安心して子どもを生み育てられる未来
⑥治安がよく安全な未来
⑦福祉の充実した未来
⑧個性がもつと發揮できる未来
⑨高校生にも選挙権がある未来
⑩暴力や争いがない未来
⑪もつと皆で助け合って生きていいく未来
⑫文化、技術、平和などで、日本が世界のリーダーとなる未来
⑬その他()